

第103期 中間報告書



2023年4月1日から
2023年9月30日まで

目次

株主の皆さまへ	1
財務ハイライト (連結)	2
特集	3
事業トピックス	5
とよつうNOW	6
IRインフォメーション	6

未来の子供たちに、
よりよい地球環境を。



株主の皆さまへ

取締役社長

貸谷伊知郎



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第103期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

世界経済を概観しますと、インフレ圧力は緩和しつつあるものの引き続き高い水準で推移する物価上昇率や、高止まる金利水準などを背景に世界経済の減速が懸念され、先行き不透明な状況は今後も続くものと予想されます。

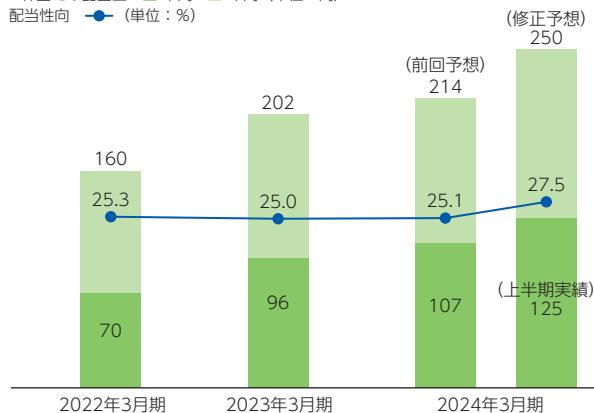
このような環境下においても変化を更なる成長のチャンスと捉え、リーンな経営を徹底し、新しい分野へのチャレンジを推進したことにより、豊田通商グループの当上半期の業績は、売上総利益は5,205億円、営業活動に係る利益は2,331億円、また当期利益（親会社所有者帰属）は前年同期比265億円増益の1,777億円となりました。なお、7月28日に公表しました通期業績予想に関し、当上半期の実績及び今後の見通しを踏まえ、10月31日に再度業績予想の上方修正を実施しております。

株主還元方針

この度、株主還元方針を改め、『2024年3月期から2026年3月期において、累進配当を実施し、配当性向30%以上を達成。加えて、キャッシュフローの動向を踏まえ、追加的に機動的な総還元策を検討する。』といたしました。これにより、これまでの13期連続増配に加え、今後3年間で累進的に増配することで16期連続増配を目指します。成長への投資の手を緩めず、強固な財務体質も堅持しながら株主還元拡充にも目を向け、バランスの取れたキャッシュアロケーションを実践します。2024年3月期の配当金については、株主還元方針に則り、通期の当期利益（親会社所有者帰属）が現状の見通しである3,200億円となった場合には、1株当たり250円（前期比48円増）となる見込みです。

1株当たり配当金／配当性向

1株当たり配当金 ■ 中間 ■ 年間（単位：円）
配当性向 ●（単位：%）



配当金につきましては、新しい株主還元方針を10月31日に公表いたしました。この方針に則り、中間配当金は1株当たり125円、支払開始日を11月27日とさせていただきました。また、同様に期末配当金は125円とし、これにより1株当たりの年間配当金は前事業年度に比べて48円増配の250円となる見込みです。株主の皆さまに安心して株式を保有いただけるよう、今後3年間において安定的な累進配当及び更なる還元の拡充を目指してまいります。

これからも変革を追求する一方で、私たちが失ってはいけない豊田通商グループのDNAや挑戦する風土を次の世代に伝えていくためには、「対話＝ダイアログ」が重要であり、社内外とのダイアログを継続しています。

社外のステークホルダーとのダイアログに関しては、「現地・現物・現実」を心掛け、取引先の皆さまと密なコミュニケーションを継続してきました。これからは、コロナ禍によって直接お話しさせていただく機会が少なくなっていたかもしれない株主の皆さまや投資家とのダイア

ログも強化していきたいと考えています。そしてダイアログを通じて得た、豊田通商グループをさらに良い企業・強い企業にしていくための強みや課題といった多くの示唆を事業戦略や財務戦略に反映することで、資本市場に対しても責任を果たす経営を行ってまいります。

私たちはサステナブルな成長を通してステークホルダーにとって唯一無二の存在、すなわち「Be the Right ONE」の実現を目指します。新たな責任や役割を担う豊田通商グループの新たな挑戦についてご理解を深めていただけますと幸いです。

豊田通商グループをご支援くださっている株主の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2023年11月

財務ハイライト (連結)

当上半期連結業績

当上半期の当期利益（親会社所有者帰属）は1,777億円となり、上半期の実績として過去最高を更新いたしました。また、今後の見通しを踏まえ、10月31日に通期業績予想の修正を実施しております。

売上総利益 5,205億円 (前年同期比7.7%増)



営業活動に係る利益 2,331億円 (前年同期比12.1%増)



当期利益 (親会社所有者帰属) 1,777億円 (前年同期比17.5%増)



決算の詳細はこちらよりご覧いただけます



未来の子供たちに、

こぼれんばかりの笑みが生まれる瞬間は、
数年先も。数10年先も。そして、数100年先だって。

そんな未来を夢見る豊田通商は、
私たち豊田通商は、風力発電やリサイクル事業に力を入れ、
未来の子供たち一人ひとりが主役となる
心が、ひらく。

豊田通商のカーボンニュートラルへの取り組み



再生可能エネルギーを活用し、カーボンニュートラルに貢献

当社は1980年代から再生可能エネルギー事業に取り組んでおり、世界各地で、風力、太陽光、水力、バイオマス等、多様な電源ソースで電気を「つくって」きました。

風力では国内最大の風力発電事業者である株式会社ユーラスエナジーホールディングスを擁し、太陽光では、国内太陽光発電事業大手のSBエナジー株式会社の85%の株式を取得し社名をテラスエナジー株式会社に改めました。

また、電力バリューチェーンにおける機能を強化し、発電した電力を整え・届ける仕組みづくりの中で安定・安価なエネルギーを供給し、よりよい地球環境づくりに貢献していきます。

豊田通商グループはグループ一丸となり、風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入拡大とカーボンニュートラルへの取り組みを加速していきます。



地域の皆さまの声に
耳を傾け、
寄り添いながら、
共生の未来へ

ユーラスエナジーでの取り組み



石巻市での出前授業
ユーラス石巻ウインドファーム
2022年8月



伊達長生大学での講演
ユーラス伊達黄金ウインドファーム
2022年11月

テラスエナジーでの取り組み



泉大津市条南小学校での環境教育
プログラム
2023年7月

よりよい地球環境を。

きっと、心の底から楽しんでいる瞬間だ。
世界中の子供たちが、笑顔いっぱい毎日暮らせる。
ジブリパークと出会いました。

カーボンニュートラルな世界の実現を目指していきます。
この地球をずっと美しく、ずっと豊かなままで。

-Open Mind-

特設ページはこちらよりご覧いただけます



玩具領域におけるサーキュラーエコノミー推進プロジェクトを発足

本プレスリリースはこちらよりご覧いただけます

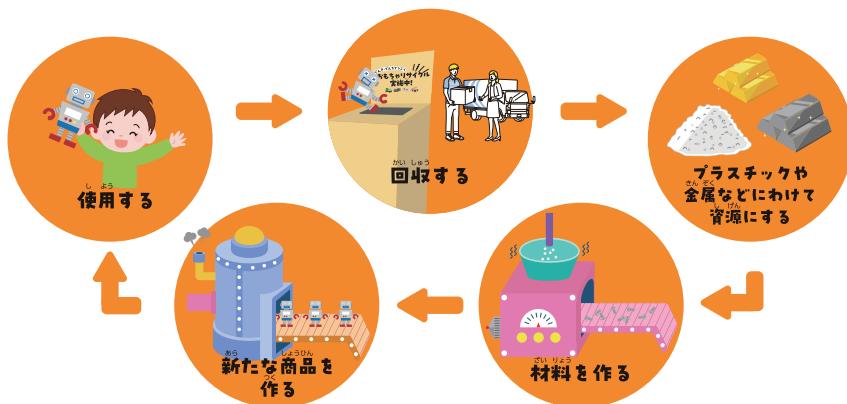


当社とリネットジャパンリサイクル株式会社（以下：リネットジャパン）は、使用済み製品の資源循環を目的に「玩具領域におけるサーキュラーエコノミー推進プロジェクト」（以下：本プロジェクト）を発足しました。第一弾として、2023年7月21日から電気・電池で動くプラスチック製玩具（以下：電動プラ玩具）を愛知県内の店舗等で回収し循環する実証実験を開始しています。



本プロジェクトは、玩具メーカー各社、及び回収協力企業（イオンリテール株式会社、株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス、株式会社名古屋グランパスエイト）と連携して推進しています。

とくく 取り組みのイメージ



当社とリネットジャパンは、玩具メーカーとの連携の下、生産者・消費者が一体となり取り組める回収・循環の仕組みを構築し、玩具業界全体におけるサーキュラーエコノミー実現を目指します。将来的には、本プロジェクトのスキームを他の使用済み製品にも拡大することによって、更なるサーキュラーエコノミーの加速とカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



4月	28日	SBエナジー株式85%の取得完了・テラスエナジーに社名変更 ～再生可能エネルギー事業のシナジーを最大化し カーボンニュートラルの取り組みを加速～
5月	10日	国内初、商用化ベースでの継続的な船舶向けバイオ燃料の供給開始について
	16日	北海道 道北地域における送電・蓄電事業の設備が竣工 ～国内最大のリチウムイオン蓄電池設備で風力発電の出力変動を調整～
	29日	電気自動車の車載用電池を活用した定置用蓄電池システムの実証について
6月	1日	米国における車載用電池工場へ追加投資
	28日	サウジアラビアで豊田通商初の再生可能エネルギー事業に参画
7月	18日	玩具領域におけるサーキュラーエコノミー推進プロジェクトを発足 ～電動プラ玩具の回収・循環の実証実験、7月21日から愛知県で開始～
	21日	ジブリパークとタイアップした新CMを公開
	31日	ケニアでSUV車「フォーチュナー」のSKD生産を開始
8月	10日	ベナンで25MWの太陽光発電所建設工事を受注 ～西アフリカ地域で日本企業初の大型再生可能エネルギー発電所建設～
9月	21日	ムサシ・デルタ・豊田通商が2輪EV駆動ユニットを製造・販売する合併会社を設立 ～世界最大の2輪車市場であるインドでの本格販売に向けて～
	28日	海洋プラスチック汚染の主要原因である廃漁網の繊維リサイクル事業へ参入



■道北地域における送電・蓄電事業の設備が竣工
サステナブルな社会を実現するために、風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入拡大とカーボンニュートラルへの取り組みを加速してまいります。



■ケニアでSUV車「フォーチュナー」のSKD生産を開始
[WITH AFRICA FOR AFRICA] の理念の下、同国の更なる自動車産業の発展に寄与することを目指し、「フォーチュナー」の現地生産に取り組んでまいります。

(当社リリース日を基準に掲載しています)



名古屋本社で「ようこそ豊通2023」を開催

8月8日(火)、9日(水)に当社名古屋本社にて4年ぶりに「ようこそ豊通」を開催しました。ようこそ豊通は、「家族に会社や仕事をもっと知ってもらいたい」「家族に自分の働く姿を見せてあげたい」という思いと、ワークライフバランスを促進する目的から始まった会社見学イベントです。

各営業本部からの仕事紹介に加えて、役員と名刺交換を

行ったり、家族の働く職場を見学したりするなど、子供たちをはじめとしてご家族の皆さまに楽しんでいただくことができました。

今年は当社及び豊田通商グループから2日間で過去最多の合計139家族446名(大人205名・子供241名)が参加し、大いに盛り上がりました。



アフリカ本部の仕事紹介



貧谷社長との名刺交換



IRインフォメーション

豊田通商グループの事業内容や成長戦略について理解を深めていただくための機会として、個人投資家向け説明会の開催やIRイベントへの参加を行っています。最新の情報は、当社ウェブサイトですぐご案内しておりますので、是非ご活用ください。

①	個人投資家向け説明会の日程や資料・説明動画 説明会の開催情報が決まり次第、随時当社ウェブサイト内のこちらのページを更新しております	
②	各種お問い合わせ 当社に関するご質問・ご意見等がございましたらこちらへお願いします	



～個人投資家向けイベントの様子～

9月8日(金)、9日(土) 吹上ホール(名古屋市)にて開催の「名証IRエキスポ」へ参加いたしました。2日間の総来場者数は約8,500名にのぼり、会場は熱気につつまれていました。今回はプレミアム説明会やSDGs説明会へも参加し、投資家の皆さまからの様々なご質問にお答えしました。今後もこのようなイベント参加や説明会の実施を通じ、個人投資家の皆さまとの貴重な対話の場を増やしてまいります。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京・名古屋の各証券取引所
公告の方法	電子公告 https://www.toyota-tsusho.com/ir/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

会社情報 (2023年9月30日現在)

商号	豊田通商株式会社 (TOYOTA TSUSHO CORPORATION)
設立	昭和23年7月1日
資本金	64,936百万円
従業員数	66,944名 (2023年3月31日) (出向者除き、受入出向者含む)



統合レポート2023を発行しました。
当社ウェブサイトよりぜひご覧ください。



表紙のご説明

豊田通商は、2022年11月に開園した「ジブリパーク」をオフィシャルパートナーとして応援しています。

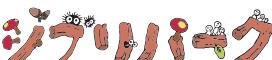
この度、スタジオジブリ協力の下、愛・地球博記念公園とジブリパークを舞台にしたタイアップムービー及びグラフィックを制作しました。

「将来にわたって愛され続ける公園づくり」を目指すジブリパークに共感した“豊田通商の想い”を表現しています。

私たちは、「未来の子供たちへより良い地球環境を届ける」というメッセージを掲げ、地球環境に配慮したビジネスの展開、社会に貢献する人づくりを通して、社会と共に持続的に成長し続ける企業を目指しています。



タイアップムービー／新CMを公開中です。
URL:<https://onl.tw/TGBkmq8>

豊田通商は  を応援しています。
©Studio Ghibli

株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネックスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

 TOYOTA TSUSHO CORPORATION

〒450-8575 名古屋市中村区名駅四丁目9番8号 センチュリー豊田ビル
ウェブサイト <https://www.toyota-tsusho.com>

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

